

目黒区美術館資料の収集にかかる目黒区美術館資料収集委員会の 報告と今後の取組について

1 目黒区美術館資料収集の経緯

目黒区美術館が所蔵する資料については、目黒区美術館資料収集基本方針（以下「基本方針」という。）に基づいて計画的に収集することとし、昭和56年から目黒区美術館資料収集委員会要綱に基づき目黒区美術館資料収集委員会（以下「収集委員会」という。）を開催し、収集作品について評価をした上で、購入や寄贈の受け入れ等を行ってきた。

平成23年度以降資料の購入は行っていないが、これまで収集してきた作品の有効活用や今後の調査研究のためには、これらの作品を補完する新たな資料収集が効果的であることから、平成24年度・27年度には寄贈及び寄託を受けている。

この度、目黒区美術館に寄贈及び寄託の申し出があったことから、基本方針に基づき、寄贈及び寄託を受けるため、収集委員会を開催し報告を受けたところである。

2 基本方針及び当面の方針

(1) 基本方針

目黒区美術館資料の収集については、優れた美術作品（以下「作品」という。）と、その理解を深めるうえで補助的な役割を果たし得る資料（以下「補助資料」という。）を、次の項目により計画的に収集する。

- ア 近代から現代に至るわが国の美術の流れを体系的に理解するうえで有益な作品
- イ 作品の成立する過程、素材及び技術と表現の関係を理解するうえで有益な作品及び補助資料
- ウ その他、目黒区美術館の所蔵品としてふさわしい作品及び補助資料

【収集対象】

作品	平面（洋画、日本画、素描、版画、書など） 立体（彫刻、工芸など） 映像（写真、版画、ビデオなど）
補助資料	素材・工程・技法などに関わる補助資料 作品制作に関わる書簡、日記など 上記収集に関わる文献

(2) 当面の方針

- ア 収集を行う範囲として継続、充実を図るもの
 - (ア) わが国の近代から現代に至る美術の形成と発展を理解するうえで有益な、日本人作家による、明治以降第二次世界大戦までに海外で制作された優れた作品及び補助資料
 - (イ) 戦後、国際的に活躍した、あるいは活躍中の日本人作家による優れた作品及び補助資料
- イ 上記アに含まれず、基本方針にのっとり、近代から現代に至るわが国の美術の流れを理解するうえで有益な、優れた作品及び補助資料の収集を行う。（留意点は下記のとおり）
 - (ア) 各美術展覧会において、特に優れていると認められた作品及び当該作家による優れた作品及び補助資料
 - (イ) 目黒区と関係の深い作家の優れた作品及び補助資料

3 収集委員会の報告

収集候補作品（寄贈79点、寄託2点、合計81点）について受けることとする。【別紙資料】

4 報告を踏まえた今後の取組

収集委員会の報告を踏まえ、区として寄贈及び寄託を受けることとする。

5 今後の予定

平成31年2月 寄贈及び寄託作品の受入れ手続き開始

【参考】

◆ 目黒区美術館資料収集委員（任期：平成31年1月13日～平成33年1月12日）

氏名	役職等	備考
金子 賢治	茨城県陶芸美術館長	委員長
猿渡 紀代子	大佛次郎記念館特任研究員	
野地 耕一郎	泉屋博古館分館長	
清水 真砂	世田谷美術館分館長	
江尻 潔	足利市立美術館次長	

◆ 目黒区美術館所蔵作品数（平成31年2月1日現在）

○ 所蔵作品数合計：2,261点

・備品：2,192点 1,469,485,200円

・その他作品：46点（※2万円未満で備品にならない作品、資料）

・基金保有資料：23点 93,154,500円

※ 目黒区博物館資料取得基金1億円のうち、現金は6,845,500円

○ 寄託継続中：5点（川村清雄「風景」平成27年度から寄託他）

以 上

平成31年1月15日

区 長 宛て

目黒区美術館資料収集委員会委員長

目黒区美術館の資料収集について（報告）

平成31年1月15日目区文第1545号により依頼のあった目黒区美術館の資料収集については、下記のとおり報告します。

記

- 1 目黒区美術館が収集する資料の選定及び評価について
（詳細は別添のとおり）

以 上

寄贈

No.	種別	作家名	作品名 (〔 〕は仮題)	制作年	技法 材質	寸法 (縦×横) cm	A (万円)	B (万円)	C (万円)	平均値 (万円)	諾否 ○×	評価額 (万円)	No.
1	寄贈	寺崎武男	〔巴里 ニウフの橋〕	1910-20 (明治43- 大正9)	コンテ・紙、 黒バックに貼 り付け	10.0×13.8 (紙寸)	25	3	10	12.7	○	12.7	1
2	寄贈	寺崎武男	〔ポンペイとベスビオ (ベスピアス) ピナス宮殿の近く〕	1908-16 (明治41- 大正5)	コンテ・紙	13.6×20.2 (紙寸)	30	3	10	14.3	○	14.3	2
3	寄贈	寺崎武男	〔赤い家 イタリア〕	1908-16 (明治41- 大正5)	着彩(水 彩)・紙	31.5×48.0 (紙寸)	120	20	30	56.7	○	35.0	3
4	寄贈	寺崎武男	〔イタリアの夏 橋のかかる小道の村〕	1908-16 (明治41- 大正5)	パステル、 水彩・紙	47.5×31.0 (紙寸)	30	20	30	26.7	○	26.7	4
5	寄贈	寺崎武男	ベニス 冬の暮れ	1908-16 (明治41- 大正5)	リトグラフ	33.2×50.8 (紙寸)	20	6	10	12.0	○	12.0	5
6	寄贈	寺崎武男	〔黄帆船図〕	1920年代	着彩 (パステ ル)、絹本	53.0×43.1 (画布寸)	40	25	30	31.7	○	31.7	6
7	寄贈	寺崎武男	〔ゴンドラの岸〕	1920年代	着彩 (水彩、パ ステル)・	52.0×33.0 (紙寸)	30	25	30	28.3	○	28.3	7

平成30年度 目黒区美術館 資料収集候補作品

※ 「平均」は小数点第2位を四捨五入し、
小数点第1位（千円単位）まで表記した。

No.	種別	作家名	作品名 (() は仮題)	制作年	技法 材質	寸法 (縦×横) cm	A (万円)	B (万円)	C (万円)	平均値 (万円)	諾否 ○×	評価額 (万円)	No.
8	寄贈	寺崎武男	ティエポロ 「クレオパトラの 饗宴」模写	1908-16 (明治41- 大正5)	油彩・画布	70.3×38.3 (画布寸)	30	30	20	26.7	○	13.0	8
9	寄贈	寺崎武男	〔天正遣欧使節団 法王の謁見 (下絵) 〕	1951-56 (昭和26- 31) 頃	パステル・ 紙	40.4×62.9	40	20	10	23.3	○	23.3	9
10	寄贈	寺崎武男	〔天正遣欧使節団 ヴァティカン広場 歓迎 (下絵) 〕	1951-56 (昭和26- 31) 頃	パステル・ 紙	36.5×62.9	30	20	30	26.7	○	26.7	10
11	寄贈	寺崎武男	〔天正遣欧使節団〕	1951-56 (昭和26- 31) 頃	着彩 (水彩、パ ステル)・	58.6×42.6 (紙寸)	30	20	30	26.7	○	26.7	11
12	寄贈	寺崎武男	〔磔刑〕	不詳	着彩 (水彩、パ ステル)・	42.8×59.1	30	25	10	21.7	○	21.7	12
13	寄贈	寺崎武男	〔グロリア〕	不詳	着彩 (水彩、 墨)・紙	42.0×52.0 (紙寸)	30	20	10	20.0	○	20.0	13
14	寄贈	寺崎武男	巴里	1910-20 (明治43- 大正9)	コンテ・紙	9.0×13.8 (紙寸)	25	3	10	12.7	○	12.7	14
15	寄贈	寺崎武男	〔ヴェニス サンマルコ寺院〕	1908-16 (明治41- 大正5)	パステル・ 紙	43.5×28.8	40	30	30	33.3	○	33.3	15

平成30年度 目黒区美術館 資料収集候補作品

※ 「平均」は小数点第2位を四捨五入し、
小数点第1位（千円単位）まで表記した。

No.	種別	作家名	作品名 (() は仮題)	制作年	技法 材質	寸法 (縦×横) cm	A (万円)	B (万円)	C (万円)	平均値 (万円)	諾否 ○×	評価額 (万円)	No.
16	寄贈	寺崎武男	〔イタリア 風景〕	1908-16 (明治41- 大正5)	パステル・ 紙	32.5×23.4	30	30	30	30.0	○	30	16
17	寄贈	寺崎武男	〔ヴェニス風景〕	1908-16 (明治41- 大正5)	パステル・ 紙	28.7×45.3	35	30	30	31.7	○	31.7	17
18	寄贈	寺崎武男	〔窓からの眺め〕	1908-16 (明治41- 大正5)	パステル・ 紙	48.2×31.1	30	30	30	30.0	○	30.0	18
19	寄贈	寺崎武男	寺崎武男資料一式				30	15	10	18.3	○	10	19
20	寄贈	武内鶴之助	川治温泉近く	不詳	パステル・ 紙	40.0×53.0	150	70	120	113.3	○	113.3	20
21	寄贈	武内鶴之助	雷鳴	不詳	パステル・ 紙	38.0×45.5	150	60	120	110.0	○	110	21
22	寄贈	武内鶴之助	冬の小川	1918 (大正7)	パステル・ 紙	45.3×33.3	180	60	120	120.0	○	120	22
23	寄贈	武内鶴之助	川奈ゴルフ場	1931 (昭和6)	パステル・ 紙	40.0×53.0	150	70	120	113.3	○	113.3	23

平成30年度 目黒区美術館 資料収集候補作品

※ 「平均」は小数点第2位を四捨五入し、
小数点第1位（千円単位）まで表記した。

No.	種別	作家名	作品名 (〔 〕は仮題)	制作年	技法 材質	寸法 (縦×横) cm	A (万円)	B (万円)	C (万円)	平均値 (万円)	諾否 ○×	評価額 (万円)	No.
24	寄贈	武内鶴之助	馬の背	不詳	油彩・ キャンバス	60.8×91.0	250	200	130	193.3	○	193.3	24
25	寄贈	武内鶴之助	桑名川の雪 (冬の山々)	不詳	パステル・ 紙	22.0×27.0	100	30	50	60.0	○	60	25
26	寄贈	武内鶴之助	佐渡小木の港	不詳	パステル・ 紙	18.0×25.0	100	30	50	60.0	○	60	26
27	寄贈	武内鶴之助	ばら	不詳	パステル・ 紙	22.0×31.0	120	30	60	70.0	○	70	27
28	寄贈	武内鶴之助	森の奥 (赤城山)	不詳	パステル・ 紙	13.0×18.0	80	30	50	53.3	○	53.3	28
29	寄贈	武内鶴之助	秋の風景	不詳	パステル・ 紙	22.0×27.0	100	30	50	60.0	○	60	29
30	寄贈	武内鶴之助	蒸気船のある風景	不詳	パステル・ 紙	18.0×25.0	80	30	50	53.3	○	53.3	30
31	寄贈	武内鶴之助	平和なる山里	1930 (昭和7)	パステル・ 紙	18.0×25.0	80	30	50	53.3	○	53.3	31

平成30年度 目黒区美術館 資料収集候補作品

※ 「平均」は小数点第2位を四捨五入し、
小数点第1位（千円単位）まで表記した。

No.	種別	作家名	作品名 (() は仮題)	制作年	技法 材質	寸法 (縦×横) cm	A (万円)	B (万円)	C (万円)	平均値 (万円)	諾否 ○×	評価額 (万円)	No.
32	寄贈	武内鶴之助	大和吉野川	不詳	パステル・ 紙	47.8×60.2	150	60	50	86.7	○	86.7	32
33	寄贈	武内鶴之助	城門から (支那)	不詳	パステル・ 紙	24.0×33.0	100	40	50	63.3	○	63.3	33
34	寄贈	武内鶴之助	冬山落日	不詳	油彩・ キャンバス	25.0×35.0	120	80	50	83.3	○	83.3	34
35	寄贈	武内鶴之助	ばら	不詳	油彩・板	27.0×22.0	80	30	50	53.3	○	53.3	35
36	寄贈	武内鶴之助	イギリス風景 (ガラス絵)	不詳	油彩・ ガラス	11.8×16.3	100	30	50	60.0	○	60	36
37	寄贈	山下新太郎	山下峯子	1926 (大正15)	油彩・ キャンバス	24.0×19.2	25	20	80	41.7	○	41.7	37
38	寄贈	山下新太郎	[峯子像]	1925 (大正14) 頃	油彩・ キャンバス	18.5×13.8	20	15	70	35.0	○	35	38
39	寄贈	山下新太郎	山下みね像	1926 (大正15)	油彩・ キャンバス	24.2×19.0	25	20	80	41.7	○	41.7	39

平成30年度 目黒区美術館 資料収集候補作品

※ 「平均」は小数点第2位を四捨五入し、
小数点第1位（千円単位）まで表記した。

No.	種別	作家名	作品名 (() は仮題)	制作年	技法 材質	寸法 (縦×横) cm	A (万円)	B (万円)	C (万円)	平均値 (万円)	諾否 ○×	評価額 (万円)	No.
40	寄贈	山下新太郎	峯子	1924 (大正13)	水彩、鉛 筆・紙	15.8×13.8	18	15	50	27.7	○	27.7	40
41	寄贈	山下新太郎	(峯子像)	1942 (昭和17)	油彩・ キャンバス	22.7×18.0	25	30	80	45.0	○	45	41
42	寄贈	山下新太郎	(峯子像)	1942 (昭和17)	油彩・ キャンバス	24.4×19.2	25	30	80	45.0	○	45	42
43	寄贈	山下新太郎	(峯子像)	1920年代後 半-30年代	パステル、 水彩・紙	27.2×24.2 (紙寸)	20	15	50	28.3	○	28.3	43
44	寄贈	山下新太郎	(峯子像)	1946 (昭和21)	水彩、鉛 筆・紙	13.6× 9.4(窓寸)	20	15	50	28.3	○	28.3	44
45	寄贈	山下新太郎	読書	1955 (昭和30)	油彩・ キャンバス	33.3×24.6	20	30	80	43.3	○	43.3	45
46	寄贈	山下新太郎	海棠	不詳	油彩・ キャンバス	23.7×19.0	30	20	80	43.3	○	43.3	46
47	寄贈	山下新太郎	軍艦山城	1939 (昭和14)	油彩・ ボード	17.8×14.0	25	20	80	41.7	○	41.7	47

平成30年度 目黒区美術館 資料収集候補作品

※ 「平均」は小数点第2位を四捨五入し、
小数点第1位（千円単位）まで表記した。

No.	種別	作家名	作品名 (〔 〕は仮題)	制作年	技法 材質	寸法 (縦×横) cm	A (万円)	B (万円)	C (万円)	平均値 (万円)	諾否 ○×	評価額 (万円)	No.
48	寄贈	山下新太郎	伊太利フロランスにて 東方雲の遠山を望む	1909 (明治42)	油彩・板	15.0×22.0	30	20	80	43.3	○	43.3	48
49	寄贈	山下新太郎	十九世紀佛蘭西畫家 模写	1930 (昭和5)	油彩・板	13.0×19.4	20	20	80	40.0	○	30	49
50	寄贈	山下新太郎	渡邊夫人の像	1947 (昭和22)	油彩・ キャンバス	55.0×46.0	80	60	90	76.7	○	76.7	50
51	寄贈	山下新太郎	〔椿〕	不詳	岩絵具・紙	38.7×27.7	12	5	80	32.3	○	32.3	51
52	寄贈	山下新太郎	小春麗日	不詳	岩絵具、 墨・紙	38.8×41.7	15	5	60	26.7	○	26.7	52
53	寄贈	山下新太郎	私の庭のバラ	1939 (昭和14)	水彩、鉛 筆・紙	35.4×26.6	12	5	50	22.3	○	22.3	53
54	寄贈	山下新太郎	ブルガリア女流画家 アネタ・ホジナ嬢	不詳	素描・紙	21.2×18.2	10	5	20	11.7	○	11.7	54
55	寄贈	山下新太郎	ヨハナ	1911 (明治44)	鉛筆もしく はコンテ・ 紙	8.0×6.9	5	5	20	10.0	○	10	55

平成30年度 目黒区美術館 資料収集候補作品

※ 「平均」は小数点第2位を四捨五入し、
小数点第1位（千円単位）まで表記した。

No.	種別	作家名	作品名 (() は仮題)	制作年	技法 材質	寸法 (縦×横) cm	A (万円)	B (万円)	C (万円)	平均値 (万円)	諾否 ○×	評価額 (万円)	No.
56	寄贈	山下新太郎	ゲインズバラ 「婦人像」模写	不詳	油彩・板	55.2×46.0	80	80	130	96.7	○	50	56
57	寄贈	松田文雄	早春の庭	1967 (昭和42)	油彩・ キャンバス	33.5×24.5	40	30	30	33.3	○	33.3	57
58	寄贈	都鳥英喜	ヴィラローツパリ宿舎	1920 (大正9)	油彩・ キャンバス	72.2×61.3	200	60	90	116.7	○	140	58
59	寄贈	都鳥英喜	巴里郊外 (Reims)	1919 (大正8)	油彩・板	23.8×32.7	150	25	50	75.0	○	90	59
60	寄贈	都鳥英喜	巴里郊外 中ノ島のポプラ	1919 (大正8)	油彩・板	32.9×24.3	150	25	50	75.0	○	90	60
61	寄贈	都鳥英喜	花	不詳	油彩・ キャンバス	45.4×38.0	150	40	50	80.0	○	80	61
62	寄贈	都鳥英喜	巴里河畔上流 (モンティニー)	1919 (大正8)	油彩・板	23.8×32.8	150	25	50	75.0	○	90	62
63	寄贈	土屋 幸夫	〔無題〕	1955 (昭和30)	油彩・キャ ンバス	130.5× 97.5	250	60	90	133.3	○	80	63

平成30年度 目黒区美術館 資料収集候補作品

※ 「平均」は小数点第2位を四捨五入し、
小数点第1位（千円単位）まで表記した。

No.	種別	作家名	作品名 (() は仮題)	制作年	技法 材質	寸法 (縦×横) cm	A (万円)	B (万円)	C (万円)	平均値 (万円)	諾否 ○×	評価額 (万円)	No.
64	寄贈	土屋 幸夫	(無題)	1980年代	ステン、 アクリル・ 木	86.0× 194.5×4.5	150	80	120	116.7	○	80	64
65	寄贈	土屋 幸夫	断続	1980年代	ステン、 アクリル・ 木	270.0× 67.0×3.0	150	80	120	116.7	○	90	65
66	寄贈	鈴木省三	森Ⅱ	1983 (昭和58)	油彩、オイルス ティック・ゴム ボード	120.0× 70.0	250	200	200	216.7	○	230	66
67	寄贈	篠田教夫	海辺の断崖	2000-02 (平成12- 14)	鉛筆、水 彩・ケント 紙	40.0×68.0	280	200	200	226.7	○	226.7	67
68	寄贈	秋岡芳夫	静物	1950代	油彩・ キャンバス	73.0x106.5	150	50	80	93.3	○	93.3	68
69	寄贈	秋岡芳夫	静物	1950代	油彩・ キャンバス	53.0 x 65.0	120	35	60	71.7	○	71.7	69
70	寄贈	秋岡芳夫	赤い家	1948 (昭和23)	着彩・紙	20.5x35.0	50	20	20	30.0	○	30	70
71	寄贈	秋岡芳夫	目黒風景	1950 (昭和25) 頃	油彩・ キャンバス	73.0x106.5	150	50	60	86.7	○	86.7	71

平成30年度 目黒区美術館 資料収集候補作品

※ 「平均」は小数点第2位を四捨五入し、
小数点第1位（千円単位）まで表記した。

No.	種別	作家名	作品名 (〔 〕は仮題)	制作年	技法 材質	寸法 (縦×横) cm	A (万円)	B (万円)	C (万円)	平均値 (万円)	諾否 ○×	評価額 (万円)	No.
72	寄贈	秋岡芳夫	Atomic Age	1950代	着彩・紙	20.0 x 30.0	30	15	20	21.7	○	21.7	72
73	寄贈	秋岡芳夫	けんかした	1948 (昭和23)	着彩・紙	36.3 x 37.0	50	15	20	28.3	○	28.3	73
74	寄贈	秋岡芳夫	飛行カバン (アンデル セン童話)	1954 (昭和29)	墨・紙	47.8x39.0	30	10	30	23.3	○	23.3	74
75	寄贈	秋岡芳夫	ボートのある風景	1949 (昭和24)	着彩・紙	30.0 x 30.0	50	20	20	30.0	○	30	75
76	寄贈	秋岡芳夫	秋岡資料-1 アルバム (大) 一式	1953-64 (昭和28- 39) 頃	写真		310	100	150	186.7	○	310	76
77	寄贈	秋岡芳夫	秋岡資料-2 工業デザ イン製品一式	1953-64 (昭和28- 39) 頃	プラスチッ ク・金属		110	77	85	90.7	○	90.7	77
78	寄贈	吉村弘	サウンド・オブジェ等 資料一式	1980-90代	紙・金属・ プラスチッ ク		440	200	250	296.7	○	296.7	78
79	寄贈	伊原宇三郎	「伊原宇三郎滞欧期 資料群」一式	1925-29 (大正14 -昭和4)	紙類		420	180	200	266.7	○	266.7	79

※ 「平均」は小数点第2位を四捨五入し、
小数点第1位（千円単位）まで表記した。


寄託

No. 種別	作家名	作品名 (() は仮題)	制作年	技法 材質	寸法 (縦×横) cm	A (万円)	B (万円)	C (万円)	平均値 (万円)	諾否 ○×	評価額 (万円)	No.
1 寄託	鈴木省三	静かな呼吸 I	1994-95 (平成 6-7)	油彩、オイルス ティック、 リキッドゴム・ キャンバス、 パネル	180.0× 130.0	300	250	300	283.3	○	280	1
2 寄託	鈴木省三	地面からの空-IV	1997 (平成9)	油彩、オイルス ティック、リ キッドゴム・ キャンバス、パ ネル	180.0× 130.0	300	250	300	283.3	○	280	2

平成30年度目黒区美術館資料収集候補作品についての依頼に、以上のとおり選定、評価します。

平成31年 1 月 15 日

目黒区美術館資料収集委員会 委員長

金子 登治 

8	【作家名】篠田 教夫 (しのだ のりお)	【作品 No.】 67	【作品数】 1 点
	【方針】 (2) : イ (ア)	【評価額合計】 2,267,000 円	
	<ul style="list-style-type: none"> ・目黒区所蔵作品として既に 1 点の作品を所蔵 ・平成 19 年に開催した「線の迷宮ラビリンス展Ⅱー鉛筆と黒鉛の旋律」展に今回の収集候補作品が 1 点出品 		
9	【作家名】秋岡 芳夫 (あきおか よしお)	【作品 No.】 68~77	【作品数】 10 点
	【方針】 (2) : イ (ア)、(イ)	【評価額合計】 7,857,000 円	
	<ul style="list-style-type: none"> ・目黒区所蔵作品として既に 14 点の作品を所蔵 ・工業デザイナーの草分け的存在として活躍し、目黒区中町に自宅とアトリエを構えた目黒ゆかりの作家 ・平成 23 年に美術館で「DOMA 秋岡芳夫展」を開催し、所蔵作品展もシリーズ化 		
10	【作家名】吉村 弘 (よしむら ひろし)	【作品 No.】 78	【作品数】 1 点
	【方針】 (2) : ア (イ)、イ (ア)	【評価額合計】 2,967,000 円	
	<ul style="list-style-type: none"> ・「音」を中心に環境全体をデザインする多彩でユニークな活動で知られた作家 ・平成 2 年及び 3 年に美術館で講師として「音」に関するワークショップを開催 		
11	【作家名】伊原 宇三郎 (いはら うさぶろう)	【作品 No.】 79	【作品数】 1 点
	【方針】 (2) : ア (ア)、イ (ア)	【評価額合計】 2,667,000 円	
	<ul style="list-style-type: none"> ・目黒区所蔵作品として既に 4 点の作品を所蔵 ・フランスに留学し、帰国後は国立西洋美術館の設置準備委員として美術館設置に尽力し、美術家の国際交流にも携わった作家 ・美術館所蔵作品展などに作品が 8 回出品 		

II 寄託

1	【作家名】鈴木 省三 (すずき しょうぞう)	【作品 No.】 1~2	【作品数】 2 点
	【方針】 (2) : イ (ア)	【評価額合計】 5,600,000 円	
	<ul style="list-style-type: none"> ・画材に焦点を当てた展覧会シリーズ「色の博物誌」に 2 回出品 ・平成 16 年度開催の「色の博物誌・黄」に今回の収集候補作品が 1 点出品 		

◎ 平成 30 年度 目黒区美術館 資料収集候補作品作家概要

Ⅰ 寄 贈

1	【作家名】寺崎 武男 (てらさき たけお)	【作品 No.】1~19	【作品数】19 点
	【方針】(2):ア(ア)、イ(ア)	【評価額合計】4,398,000 円	
<ul style="list-style-type: none"> ・イタリアに留学し優れた作品を多く残した作家 ・平成 29 年開催の「日本パステル画事始め」展に今回の収集候補作品が 3 点出品 			
2	【作家名】武内 鶴之助 (たけうち つるのすけ)	【作品 No.】20~36	【作品数】17 点
	【方針】(2):ア(ア)、イ(ア)	【評価額合計】14,064,000 円	
<ul style="list-style-type: none"> ・目黒区所蔵作品として既に 49 点の作品を所蔵 ・ロンドンに留学しパステル画の分野で特に優れた業績を残した作家 ・平成 29 年開催の「日本パステル画事始め」展に今回の収集候補作品が 5 点出品 			
3	【作家名】山下 新太郎 (やました しんたろう)	【作品 No.】No.37~56	【作品数】20 点
	【方針】(2):ア(ア)	【評価額合計】7,240,000 円	
<ul style="list-style-type: none"> ・目黒区所蔵作品として既に 4 点の作品を所蔵 ・フランスに留学し帰国後二科会 (日本の美術作家団体のひとつ) 創設などに尽力した作家 ・美術館所蔵作品展に作品が 4 回出品 			
4	【作家名】松田 文雄 (まつだ ふみお)	【作品 No.】57	【作品数】1 点
	【方針】(2):ア(ア)	【評価額合計】333,000 円	
<ul style="list-style-type: none"> ・目黒区所蔵作品として既に 1 点の作品を所蔵 ・美術・芸術家団体を通じて山下新太郎と親交があり、同時期に活躍した作家 			
5	【作家名】都鳥 英喜 (ととり えいき)	【作品 No.】58~62	【作品数】5 点
	【方針】(2):ア(ア)	【評価額合計】4,900,000 円	
<ul style="list-style-type: none"> ・フランスに留学し、明治美術会 (日本初の洋風美術団体) などで活躍した作家 ・滞欧期の穏やかながらも堅実な画風の優れた作品群として美術館の滞欧米期作品が充実 			
6	【作家名】土屋 幸夫 (つちや ゆきお)	【作品 No.】63~65	【作品数】3 点
	【方針】(2):イ(ア)、(イ)	【評価額合計】2,500,000 円	
<ul style="list-style-type: none"> ・目黒区所蔵作品として既に 24 点の作品を所蔵 ・グラフィック制作や家具などの「生活デザイン」やデザインの教育にもかかわる作家、 ・平成 25 年に美術館で「土屋幸夫展」を開催、所蔵作品展にも出品 			
7	【作家名】鈴木 省三 (すずき しょうぞう)	【作品 No.】66	【作品数】1 点
	【方針】(2):イ(ア)	【評価額合計】2,300,000 円	
<ul style="list-style-type: none"> ・画材に焦点を当てた展覧会シリーズ「色の博物誌」に 2 回出品 ・今回、寄託を受けた作品 (NO.1) が、平成 16 年度開催の「色の博物誌・黄」に出品 			